

Japan
Handball
Association



<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高専
<input type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生

<input type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	ブロック大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会

<input type="checkbox"/>	男子
<input type="checkbox"/>	女子

試合 番号	コミセン-男35
----------	----------

年月日	2022 年 8 月 1 日 (月)
大会名	令和4年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会 高松宮記念杯 第72回全国日本高等学校ハンドボール選手権大会

公 式 記 録 用 紙

A				法政大学第二高等学校								神戸国際大学附属高等学校				B	
都道府県		市町村		会場		会場		会場		会場		会場		会場		回戦	
愛媛県		松山市		松山市総合コミュニティセンター メインアリーナ		松山市総合コミュニティセンター メインアリーナ		松山市総合コミュニティセンター メインアリーナ		松山市総合コミュニティセンター メインアリーナ		松山市総合コミュニティセンター メインアリーナ		松山市総合コミュニティセンター メインアリーナ		3回戦	
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7m追加シフト	A	B			
	11	19		26	38												
7m得点/総数		A		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B		7m得点/総数					
		3/3		1	2 後	3	1	2 後	3	2/3							
				2407	1727	2216	2759	2459									

No.	法政二高	G	W	2'	D	DR	No.	神戸国際	G	W	2'	D	DR
1	鈴木 大翔						1	大西 和真					
2 c	杉山 博史	8					2	佐孝 明澄	3				
3	杉浦 航平	4		1			3	林 輝樹	5				
4	高岩 拓						4	柴村 春輝	2				
5	星名 泰生						5	荒川 祐哉	3				
6	富永 蒼央	4					6	石原 幸樹					
7	富永 武郁	4					7	水野 舜斗	7				
8	山本 航司	5					8	岡本 愛斗	4				
9	和田 波侖			1			9	吉川 陽貴	1				
10	岡本 飛鳥	1					10	澤田 悠大	6				
11	瀧川 雄翔						11 c	高橋 素晴	6		1		
12	二階堂 恭世						13	藤生 大地	1				
13	竹中 友哉						14	梶原 佑一郎					
14	松本 想						16	久保 大樹					
監督A	寄 修平						監督A	高橋 裕稀					
役員B	小寺 勝矢						役員B	向井 勝二					
役員C	立山 滉士						役員C	市原 太基					

A	寄 修平	チーム役員A署名	高橋 裕稀	B
特記事項				

レフエリ-	岡田 雅央	荒木 隆史	岡田雅央	荒木隆史
TD	小笠原龍太	野本 孝	小笠原龍太	野本孝
MO	永春 文義		永春文義	

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

令和4年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会
高松宮記念杯第73回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

試合結果・戦評報告書

競技日	2022年8月1日(月)		会場	松山市総合コミュニティセンターメインアリーナ	
種別	男子		回戦	3回戦	
チーム名			チーム名		
法政大学第二高等学校(神奈川)			神戸国際大学付属高等学校(兵庫)		
得点合計	小計		小計	得点合計	
26	11	前半	19	38	
	15	後半	19		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評

法政二高校のスローオフで試合が開始され、⑧山本のミドルで先制するが、神戸国際高校もすかさず⑩高橋のミドルシュートで得点する。その後も、神戸国際は⑦水野のポストシュートや⑩高橋のミドルシュート、③林のステップシュートなどで得点し4連取する。法政二も③杉浦のサイドシュートで得点し、リズムを掴みかけた時に③杉浦が退場してしまう。法政二はその後粘りを見せ、⑧山本や②杉山のミドルシュートなどで得点し、13分過ぎに7対7の振り出しに戻した。しかし、法政二⑨和田の退場をきっかけに、神戸国際は⑧岡本の7mTや⑩高橋の連続得点、⑩澤田のサイドシュートなどで4連取する。法政二も積極的なディフェンスで相手のミスを狙うが、神戸国際も苦しいときに⑦水野のポストシュートや②佐孝や⑩澤田のサイドシュートで得点していき19対11で神戸国際がリードして前半を終わった。

後半に入り、神戸国際⑦水野ポストシュートで得点して突き放そうとするが、すかさず法政二も積極的ディフェンスからの速攻で⑦富永が得点する。その後は一進一退の展開が続く。法政二は11分過ぎ、神戸国際の不正入場による退場などもあり⑧山本や⑥富永、②杉山などが4連取し、5点差に迫ったが、神戸国際GK⑩久保の好守もあり、終始余裕をもって試合展開した神戸国際が38対26で勝利した。